

富山県民会館ホール



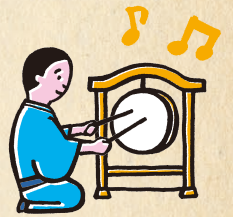
開演午後2時
(開場午後1時半)

令和5年
7月23日(日)



ちよつと
笑いに
寄つてく?

目県民 寄席 会館



お囃子 井上りち

落語 林家さく平

紙切り 林家楽一

落語 柳家やなぎ

落語 林家たい平

落語 古今亭志ん陽

落語 柳家さん喬

落語 翁家社中








木戸銭 一般 3,000円
(当日500円高)
高校生以下500円
(全席指定)

入場券のお求めはアーツナビで
4/21(金)10時 販売開始



●窓口
▶富山県民会館・富山県教育文化会館・
富山県高岡文化ホール・新川文化ホール

●インターネット▶[https:// www.arts-navi.com/](https://www.arts-navi.com/)
ご予約後、ファミリーマートでもお受け取りいただけます。
(ファミリーマートでは発券手数料が必要です。)

*未就学児の入場はご遠慮ください。
主催：公益財団法人富山県文化振興財団 富山県民会館 共催：富山県 後援：一般社団法人富山県芸術文化協会 北日本新聞社
お問合せ 富山県民会館 TEL076-432-3115(平日9~17時) / 076-432-3111(土日祝)
●駐車場には限りがあります。できるだけ公共交通機関をご利用ください。

公演前のひととき、美味しいランチを眺めも最高のレストランで楽しみませんか？

公演当日、県民会館8階 レストラン清風 では、100席以上のお席を用意して
皆さまのお越しをお待ちしております。

お問合せ・ご予約 TEL076-432-4110

お食事例

お肉 または お魚のメインが選べるランチ
(デザート・コーヒー付) 1,500円



まずは 寄席に 行ってみよう。



メクリ



芸人の名前が書かれた紙のこと。演目と演目の間に前座さんが出てきて、座布団を裏返しメクリを捲るので注目してみましよう。



木戸銭

寄席の入り口を木戸と呼ぶことから、寄席の入り口で払う入場料を木戸銭と呼びます。

高座

落語などを演じるために一段高くなった所。落語などが演じられる舞台のことを指すこともあります。



出囃子

芸人が高座に上がるときに流れる三味線や太鼓などの音楽です。芸人によって音楽が違います。今回の県民会館寄席では、生演奏でお楽しみください。

また、寄席では、開場や開演、終演の時に太鼓が聞こえます。その時々で叩き方に違いがあるので、聴き分けてみるのも楽しみの一つです。

番組

プログラムのこと。今回の県民会館寄席の番組は、表面でご確認ください。

落語



一人の落語家・噺家が、扇子を箆や刀、手ぬぐいを本や財布などに見立てて身振り手振りで演じます。たった一人で右左に顔を振り数人を演じ分ける名人芸は、その声色やしぐさで聴き手の目の前に噺の世界が広がります。

また、噺の本题に入る前のお話を「まくら」、落語の最後のセリフを「オチ」または「さげ」といいます。落語家の位は、前座・二つ目・真打と昇進していきますので、今回の県民会館寄席でも順にお楽しみください。

色物



寄席で楽しめる、落語以外の漫才や紙切りなどの演芸を色物といえます。番組に黒で書かれる落語に対し、色物は朱書きされています。ことからそう呼ばれています。今回の色物は、太神楽曲芸と紙切りです。

● だいかぐらは、元々は神様へ奉納する神事でした。寄席では、まりや和傘等を使った曲芸をご覧ください。

● 紙切りは、その名の通り、紙をハサミで切り動物や縁起物を形作る伝統芸能の一つ。ハサミを動かしながらのお話しにも注目です。落語会では味わえない『寄席ならではの』をお楽しみください。

仲入り

寄席では、休憩時間を仲入りと呼びます。

トリ

興行の最後を務める芸人のこと。今回は、柳家さん喬師匠がトリを飾ってくださいます。



寄席と言って最初に思い浮かぶのは落語かもしれません。寄席では、落語だけではなく、漫才、漫談、手品、曲芸などいろいろな演芸がお楽しみいただけます。まずは「寄席」に足を踏み入れてみませんか。

寄席では、客席への出入りが自由です。周りのお客様や芸人さんへのマナーとして、演目の切れ目での出入りをお願いします。

また、演芸場では飲食も自由です。売店でお弁当を売っているところも多いのですが、今回はホールでの開催なので、飲食はご遠慮ください。ごめんなさい！